

わんぽいんと アドバイス

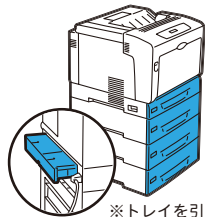
普段何気なく使っているプリンター。ちょっとしたことでトラブルが防げて、快適にお使いいただけます。お使いになる前にご覧ください。



Color MultiWriter 9110C2/Color MultiWriter 9010C2

用紙をセットする

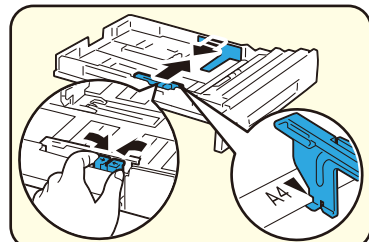
トレイ 1 / トレイ 2～4 (オプション)



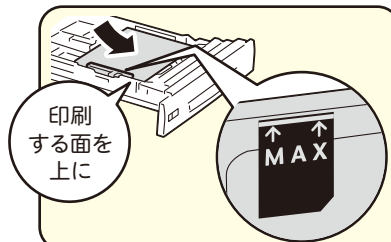
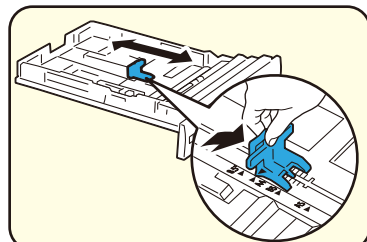
定形サイズ of 用紙をセットした場合は、用紙のサイズと向きは、機械が自動的に検知します。定形外サイズの用紙をセットした場合は、操作パネルでサイズを設定する必要があります。定形サイズ・定形外サイズどちらも、用紙種類は操作パネルで設定します。

※トレイを引き伸ばした場合は、延長部分が背面から飛び出します。

- 1 用紙トレイを取り外し、用紙ガイドクリップを指でつまみ、用紙のサイズまで動かします。
- 2 たての用紙ガイドクリップを指でつまみ、用紙のサイズまで動かします。
- 3 印刷する面を上にして、用紙をセットします。

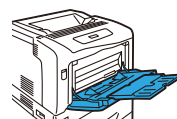


Point A4 よりも長い用紙をセットするときは、トレイを引き延ばします。



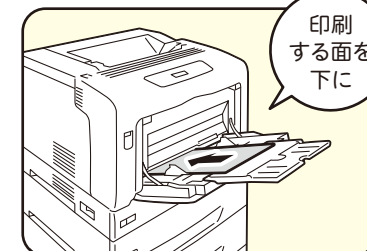
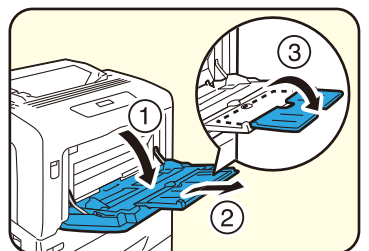
Point ・種類やサイズが異なる用紙を同時にセットしないでください。
・用紙上限線を超える量の用紙をセットしないでください。

手差しトレイ

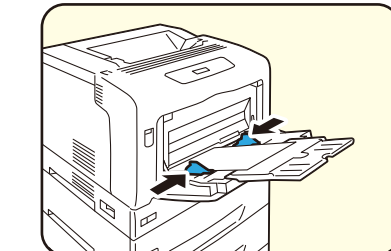


手差しトレイの用紙に印刷する場合は、印刷時にプリンタードライバーで、セットした用紙のサイズと種類を設定します。

- 1 手差しトレイを開きます。必要に応じて、延長トレイを引き出します。
- 2 印刷する面を下にして、用紙をセットします。
- 3 用紙ガイドを動かして、用紙の端に合わせます。



Point ・種類やサイズが異なる用紙を同時にセットしないでください。
・用紙上限線を超える量の用紙をセットしないでください。



Point 用紙ガイドは軽く当ててください。

こんなトラブルが防げます

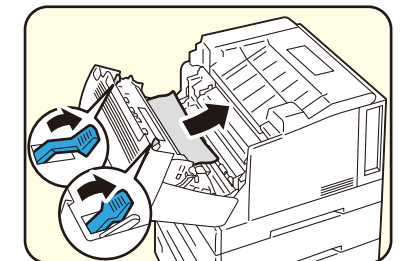
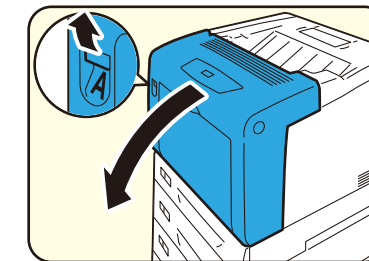
- 用紙が給紙されない
- 用紙の先端や後端の部分がきれいに印刷されない
- 斜めに印刷される
- 印刷された用紙の先端が傷む
- 印刷された用紙にしわができる
- プリンターの内部で用紙が詰まる

紙づまりを解消する



カバー A 内での紙づまり

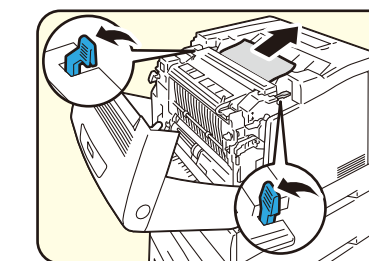
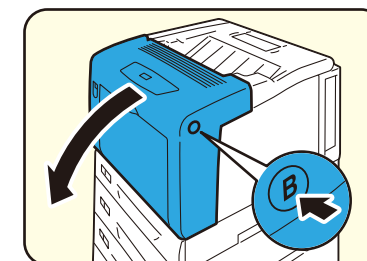
- 1 A レバーを押し上げて、フロントカバーを開けます。
- 2 詰まっている用紙を取り除きます。用紙が破れた場合は、内部に紙片が残っていないかを確認します。



※カバー A での紙づまりのメッセージ表示例

カバー B 内での紙づまり

- 1 B ボタンを押し、カバー B をゆっくりと開けます。
- 2 詰まっている用紙を取り除きます。用紙が破れた場合は、内部に紙片が残っていないかを確認します。



Point 詰まった用紙は確実に取り除いてください。

Point 機械内部に詰まった用紙や紙片は無理に取り除かないでください。特に、定着部やローラー部に用紙が巻き付いているときは無理に取らないでください。ケガややけどの原因となるおそれがあります。



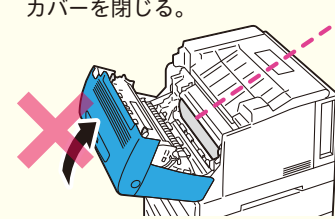
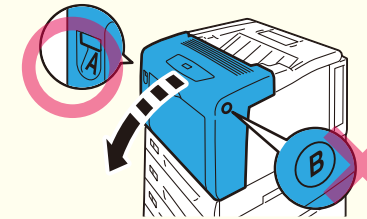
中間転写ユニット(黒フィルム)に紙づまりが発生した場合

中間転写ユニット(黒フィルム)に紙づまりが発生した場合、以下の作業をすると、用紙が中間転写ユニットの奥に入り込んでしまい、故障に繋がることがあります。

紙づまりの位置を確認してから、詰まった用紙は確実に取り除きましょう！

<カバー A での紙づまりの例>

- ① カバー B を間違えて開けてしまう。
- ② 詰まった用紙を取り除かないままカバーを閉じる。

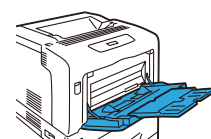


Point 適正でない用紙を使用した場合、紙づまりや印字品質の低下、故障、および装置破損の原因になることがあります。本機に適した用紙を使用してください。用紙について詳しくは、『活用マニュアル』の「4 用紙について」を参照してください。

こんなトラブルが防げます

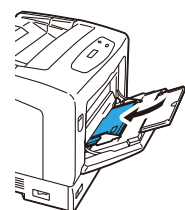
- 詰まった用紙がちぎれる
- 印刷をやり直したときに用紙が汚れる

はがき、封筒、ラベル紙などにプリントするときは



手差しトレイに、はがき、封筒、ラベル紙、厚紙、コート紙をセットする場合は、セットする用紙の向きや給紙方法を注意してください。

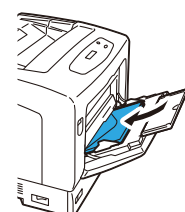
はがき



- ☐ 印刷面を下に
- ☐ よこ置き
- ☐ 郵便番号記入欄を左側にしてセット

封筒

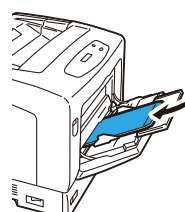
■ のり付きの封筒の場合（例：洋形 3 号）



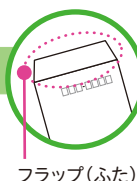
- ☐ 印刷面を下に
- ☐ フラップを閉じる
- ☐ フラップ部分を奥にしてセット

Point フラップを開けてセットすると、機械の故障の原因になります。

■ のりなしの封筒の場合（例：長形 3 号）



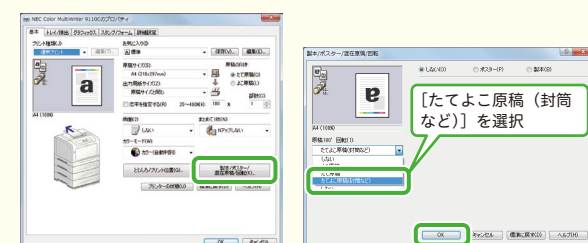
- ☐ 印刷面を下に
- ☐ フラップを開く
- ☐ フラップ部分を手前にしてセット



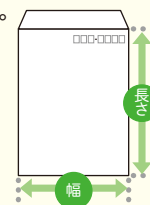
フリップ（ふた）

のりなし封筒の場合、封筒をセットしたあと、プリンタードライバーで設定が必要です。

① プリンタードライバーの [基本] タブ > [製本 / ポスター / 混在原稿 / 回転] > [原稿 180° 回転] を [たてよこ原稿 (封筒など)] に設定します。

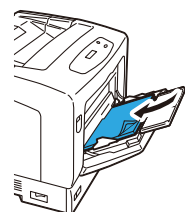


② フラップ部が用紙の長さに含まれるので、用紙サイズをあらかじめ [ユーザー定義用紙] に設定します。[ユーザー定義用紙] を設定するときは、短辺側にフラップがある封筒 (長形 3 号など) は [短辺] に [幅] を、[長辺] に [長さ] を入力します。長辺側にフラップがある封筒 (洋長形 3 号など) は [短辺] に [長さ] を、[長辺] に [幅] を入力します。



ユーザー定義用紙の登録について詳しくは、『ユーザーズガイド』の「3 印刷する」>「3.3 定形外 / 長尺サイズの用紙に印刷する」>「定形外サイズを登録する」を参照してください。

ラベル紙



- ☐ ラベル面を下に
- ☐ よこ置き

Point たて置きでセットすると、故障や紙づまりの原因になります。

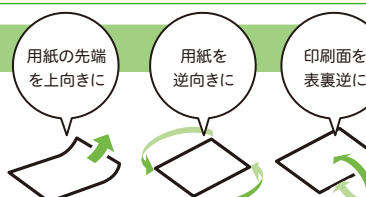
厚紙・コート紙

■ 厚紙

給紙されにくいときは、右のイラストを参考にして給紙方法を変更してください。

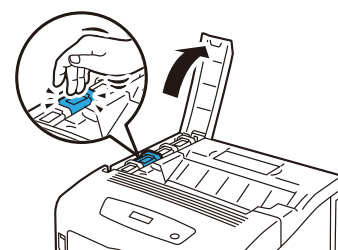
■ コート紙

1 枚ずつ手差しトレイにセットしてください。



「トナー予備用意：X」と表示されたら

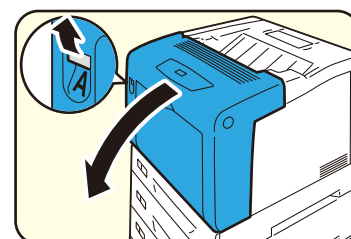
*：X にはイエロー (Y)、マゼンタ (M)、シアン (C)、ブラック (K) のどれか、またはその組み合わせが表示されます。



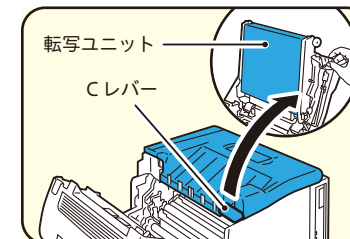
「トナー予備用意：X」が表示された場合、トナーが片寄っている可能性があります。トナーカバーを開けて、ディスプレイに表示された色のトナーカートリッジを上から「トントン」と 5～6 回軽く叩いてください。
(トナーカートリッジを外す必要はありません)
トナーカバーを閉め、メッセージが消えない場合は、表示されたトナーカートリッジの予備を用意してください。

ドラムカートリッジを交換する

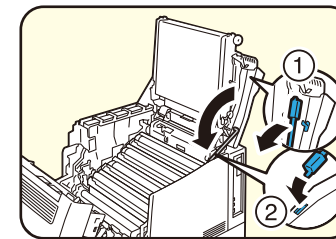
① A レバーを押し上げて、フロントカバーを開けます。



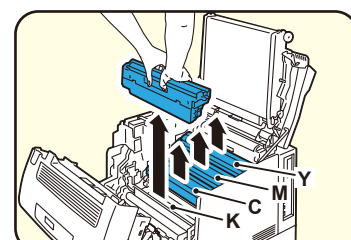
② 排出トレイカバーの右手前の C レバーを持ち、静かにカバーを開けます。



③ 排出トレイカバーの右側についている倒れ防止アームの上先端を手前に外し、本機右側の溝に差し込んで、排出トレイカバーを固定します。

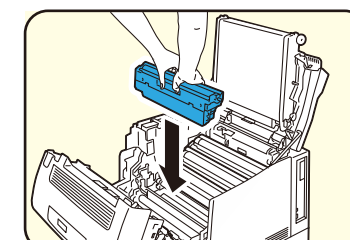


④ メッセージに表示されているドラムカートリッジを両手で静かに持ち上げて取り出します。



Point 使用済みドラムカートリッジは、新しいドラムカートリッジに同梱されているポリ袋に入れ、新しいドラムカートリッジを取り出したあと、その箱にしまいます。

⑤ 新しいドラムカートリッジの包装紙をはがし、新しいドラムカートリッジを左右の溝に合わせて平行に挿入して、取り付けます。



Point ・長時間カバーを開けたままにすると、ドラムカートリッジが光で劣化する可能性があります。10 分以内を目安にカバーを閉めるようにしてください。
・ドラムカートリッジの交換直後に濃い横帯や濃度のムラが発生したときは、1 日程度、本機を休ませてください。

ドラムカートリッジは、立てた状態で置かないでください。トナーがこぼれる恐れがあります。

604E 87500

発行者— 日本電気株式会社

発行年月：2017年 10 月
帳票番号：DE5980J9-2 第 1 版
Printed in China



⇒ こんなトラブルが防げます

■ 用紙をこすると汚れる ■ 紙づまりや機械内部でラベルがはがれることによる故障